

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要		事業開始年度 昭和46年度～		根拠法令・例規等	消防組織法
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問 担当課(室) 危機管理課 合 職・氏名 消防防災係長 岡村 巧 先 電 話 64-1809 このシート作成に要した時間 0.5 時間
	中項目	基本計画	05	安全で暮らせるまち	
	小項目	施策	16	消防・防災体制の強化	
事務事業名		08		非常備消防施設管理事業	

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	消防団、地元住民		
目的(何のために)	消防団の消防器庫(詰所)等を維持、管理することにより、災害時での消防団や地元地域の活動拠点として、円滑な災害対応を図る。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	消防器庫1箇所あたりの維持管理費用の適正化		

事業の実績				Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度		
	消防器庫管理事業	消防器庫の維持管理	◎		
	分団消防備品整備事業	消防ホース等備品の購入	○		

決算額	事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
	事業費	直接事業費	千円	2,377	7,447	2,847	
	必要人員費	人員件数	千円	0.08人	0.10人	0.17人	
	事業費	費	千円	3,043	8,154	4,002	
	財源	国	県支出金	千円		1,494	433
		受	益者負担				
		繰	入金				
		市	債				
		その他(自販機収入)		96	546	96	
		一般財源		2,947	6,114	3,473	
	受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績		

結果指標	結果指標量	説明	消防機庫維持管理費	74	74	74
	対前年比	%		-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円		1,619,000	1,550,000	1,600,000
	単位当たりコスト			21,878	20,946	21,622

事業の成果		平成25年度事業				
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
消防器庫1箇所あたりの維持管理費	目標値(A)	25,000	25,000	25,000	25,000	
	実績値(B)	21,878	20,946	21,625	到達目標値	
	達成率(B/A)	87.51%	83.78%	86.50%	25,000	
成果指標設定の考え方・式や説明						
消防器庫に係る経費÷箇所数						

事務事業の評価		Check	
該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高い 低い B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高い 低い C
有効性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPQ、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高い 低い C

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	ホース購入本数を2部に1本あてとする。不要な光熱水費の削減に努める。						

総合評価		Action	
消防器庫が74箇所あり、団員数や活動実態に合わせて、統廃合を検討する必要があるが、地域での防災活動拠点としての機能もあり、最低限の維持管理は必要である。		総合評価	C
		ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高い 低い	

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	器庫の整備を行うと同時に、災害時支障をきたさないよう、消防団による維持管理も適正に行うよう依頼						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しな